

地域（酒田市）の課題・方向性

急激な人口減少による地域力の低下

- ・ 2050年の酒田市の推計人口は61,224人（2026年1月末比 ▲3.1万人 ▲33%）
- ・ 地域等あらゆる領域での担い手不足
- ・ 消費人口の減少による地域経済の縮小

洋上風力発電を契機とした地域活性化

- ・ 人口減少の抑制、それでも豊かに安心して暮らせるまちの実現
- ・ 良質な雇用の創出、市民所得の向上

配慮した視点

採択事業者と連携した地域振興

- ・ 採択事業者のノウハウ・ネットワークを生かした連携

中長期的な地域振興

- ・ 海域占用期間30年間を見据えて、地域の将来像をイメージ

地域振興策への意見(酒田部会,意見交換会)

- ・ 新しい働き口ができることで若者の地元定着が増えてほしい
- ・ 地域・企業での人材不足は深刻である
- ・ 洋上風車の景観が観光に悪影響が出る
- ・ 洋上風力が配列よく建てられれば、景観に美しく調和する名所が生まれる
- ・ 松枯れが深刻なので松原再生が必要
- ・ 地域資源（海や臨港線など）を生かした観光やスポーツも地域活性化につながる

地域振興策の柱建て・想定される取組例

- ・ 第5回酒田部会で報告した地域振興策の柱建て・キーワード(案)に対して、酒田部会や意見交換会でいただいた意見を参考に見直しを行った。
- ・ 地域振興策の目指す方向性を明確化するために、柱建て・想定される取組例の選択と集中を行った。
- ・ 地域の様々な問題の根本原因は、急激な人口減少である。そのため、「若者の地元定着につながる取組み」や「人口減少による影響を緩和する取組み」を意識して柱建て・想定される取組例を設定した。

1 脱炭素社会に向けた持続的な新産業創出

- 循環型地域経済(サーキュラーエコノミー)の実現に向けた産業の誘致（風車ブレード・太陽光発電パネルリサイクル、CO₂資源化など）
 - 地域再エネの利活用に向けた環境整備や産業誘致（RE100工業団地、データセンター、蓄電所など）
 - 重要港湾酒田港を最大限生かしたGX※産業の誘致（浮体式洋上風力発電の組立て拠点化を見据えた関連産業の誘致など）
- ※GX：グリーン・トランスフォーメーションの略で、化石燃料からクリーンエネルギーへの転換で産業・社会構造を変革し、脱炭素と経済成長を両立させる取組

2 未来を担う人材の育成等

- 新産業で活躍できる人材の育成
- 地域資源を活かし、地域課題を解決できる起業家の育成
- 地域教育機関と市内企業の連携による若者定着
- 地域の担い手不足解消への取組み（地域コミュニティ、公共交通、地域産業など）

3 洋上風力との共生による地域づくり

- 安全・安心の社会構築に向けた持続可能な事業の提案（地域課題の例：防災、熊出没、松枯れなど）
- 風車景観・海・港を活用した賑わい創出（観光・スポーツなど）
- 市内の未利用資産（空き家・公共施設等）の有効活用
- 地域行事の持続的な実施に向けた支援（特に沿岸地域）

洋上風力発電を契機とした地域活性化